UNIT
09 결혼：結婚

아이스브레이킹 ウォームアップ

Q1 人生において、結婚は必ず必要だと思いますか？

結婚は必ずしも必要ではないと思います。独身(どくしん)でも十分幸せに暮らせると思います。

결혼이 반드시 필요한 건 아니라고 생각해요. 독신이어도 충분히 행복하게 살 수 있다고 생각해요.

Q2 結婚式や結婚生活に対して、何か憧(あこが)れはありますか？

豪華(ごうか)な結婚式より、家族や親しい友達だけでささやかな結婚式を挙げたいです。

화려한 결혼식보다 가족이나 친한 친구들만 모아서 소박한 결혼식을 올리고 싶어요.

토론 질문 ディスカッション

Q3 恋愛結婚とお見合(みあ)い結婚、それぞれのメリットとデメリットについて話してください。

お見合い結婚は効率よく結婚相手を探せますが、結婚前に相手をよく知る時間が短いのがデメリットです。

중매 결혼은 효율적으로 결혼 상대를 찾을 수 있지만, 결혼 전에 상대를 충분히 알아갈 시간이 짧다는 것이 단점입니다.

Q4 結婚前に一緒に住むことについて、どう思いますか？

結婚前に同棲(どうせい)したほうがいいです。一緒に住まないと分からないことが多いからです。

결혼 전에 동거하는 편이 좋습니다. 함께 살아보지 않으면 알 수 없는 것이 많기 때문입니다.

Q5 幸せな結婚生活を送るために、一番大切なことを一つ選ぶなら、何ですか？

お互いを思いやることが一番大切です。小さなことでも相手の気持ちを考えるべきです。

서로를 배려하는 것이 가장 중요합니다. 작은 일이라도 상대방의 마음을 생각해야 합니다.

Q6 結婚するのと、親友とシニア向けの住宅で暮らすのと、どちらを選びますか？

親友と暮らしたいです。結婚しても離婚(りこん)するかもしれないし、友達との生活は気楽だからです。

친한 친구들과 살고 싶습니다. 결혼해도 이혼할 수 있고, 친구들과 사는 것이 마음 편하기 때문입니다.

Q7 結婚後、夫婦の収入は一緒に管理するほうがいいですか？
それとも、別々に管理するほうがいいですか？

収入は別々に管理したいです。お金の使い方まで見られると、プライバシーの侵害(しんがい)だと感じます。

수입은 각자 관리하고 싶습니다. 돈을 어떻게 쓰는지까지 확인받으면 사생활 침해라고 느끼기 때문입니다.

Q8 結婚する人が減(へ)っている一番大きな理由は何だと思いますか？

結婚には持(も)ち家(いえ)が必要だと考える人が多いですが、家が高すぎてなかなか買えません。

결혼하려면 자가 주택이 필요하다고 생각하는 사람이 많지만, 집값이 너무 비싸서 쉽게 살 수 없습니다.

© PALLO! All Rights Reserved.
본 교재의 무단 복제 및 배포를 금합니다.

UNIT 09

부모가 허락 없이 자녀의 사진이나 영상을 SNS에 올려도 될까?

1 本文

Instagramやカカオトークなどの SNSに、子どもの写真や動画を投稿する親は多い。投稿は、フォロワーだけでなく、検索やおすすめ機能を通じて、知らない人にも表示されることがある。「いいね」やコメントで応援が集まる一方、スクリーンショットや転載によって、投稿者の手を離れて広がる場合もある。公開範囲を家族だけに設定すれば、見る人は限られるが、その中の誰かが保存することまでは防げない。子どもが幼いうちは、投稿の意味を理解することが難しい。一方、成長すると、自分の写真の扱いについて意見を持つようになる。親には子どもを育てる責任があり、子どもにも自分の情報を守る権利がある。親が子どもの写真や動画をSNSに投稿するとき、子どもの同意は必要だろうか。あなたはどちらを支持しますか。

今日の表現

表現 投稿する 게시하다 / 「いいね」 '좋아요' / 転載 리포스트하다 / 保存する 저장하다 / 権利 권리

2 二つの立場

〈立場 A〉 부모니까 괜찮다.

- 未成年の子どもの法的な代理人は、親です。
- 幼い子の同意は、実際には確認できません。
- 投稿の収益を、教育費に使う家庭もあります。
- 育児の投稿は、他の親の助けにもなります。

〈立場 B〉 자녀의 동의가 필요하다.

- 親の利益が、子どもの利益とは限りません。
- 投稿は、子どもの人間関係にも影響します。
- フランスでは、子どもの肖像権が法律で認められています。
- 写真が悪用されても、親は一生責任を取れません。

私の立場 ☐ 立場 A ☐ 立場 B ※中立は選べません

3 ディベート

1R 最初の主張

→ 全員 1回。時計回り。理由は三つまで。

- [ ] 私は○○の立場です。理由は三つあります。まず〜、次に〜
- [ ] これは〜という前提に基づいています。

2R 指名して反論

→ 全員1回。「○○さんに反論します」と言って反論を始める。終わったら隣の人に順番を渡す。

- [ ] たしかに〜ですが、それは〜を前提とした話ではありませんか。
- [ ] その主張は、〜という点を軽視しています。
- [ ] 実際には、〜する場合も少なくありません。
- [ ] そもそも「〜」の定義が違うのではありませんか。

3R 反論に答える

→ 反論された人のみ。パスできない。

- [ ] その指摘は当たりません。なぜなら〜
- [ ] たしかにその点は認めます。ただ〜
- [ ] 今の反論は、私が言っていないことへの反論です。

4 ゆさぶり質問

→ 多数派に先に使う。

1 — 立場 A と言った人へ

投稿から1年後、子どもが半年間学校に行けなくなり、
医師から「強い不安の背景に、投稿が広まったことへの心配があるようです」と言われたとします。
投稿は50万回転載され、消せません。それでも、「親の判断で載せた」ことは正しかったと言えますか。

2 — 立場 A と言った人へ

親が、子どもの病名と通院の記録を「子育ての記録」として公開アカウントに載せたとします。1年間で、1万人が見ました。「子どものため」という善意でした。数年後、その子が中学校に入ると、同級生がこの記録を見つけ、クラスで話題にしたとします。それでも、親の判断だけで載せてよいと言えますか。

3 — 立場 B と言った人へ

シングルマザーが、9歳の娘との育児動画で月15万円を稼ぎ、これが生活費の半分だとします。
娘が「消して」と言えば収入がなくなり、家賃が払えなくなります。
それでも、子どもの同意を最優先すべきでしょうか。

4 — 立場 B と言った人へ

11歳の娘がダンス大会で優勝しました。大会の動画をSNSに投稿すると、ダンスチームから声がかかる可能性があります。しかし、娘は恥ずかしいから嫌だと言っています。親が子どもの将来のためだと考えていても、娘の反対を優先すべきでしょうか。

5 最終質問

- [ ] 立場 A　[ ] 立場 B　[ ] 変わった　[ ] 変わらなかった
- [ ] 最初は〜と思っていましたが、○○さんの指摘で考えが変わりました。
- [ ] 立場は変わりませんでしたが、理由が変わりました。
- [ ] 今まで〜という点を考えていませんでした。

6 使える語彙

2Rの「その主張は〜という点を軽視しています」の〜に入れる材料です。

❶ 立場Aが使う語彙。

親権(しんけん)	친권
介入(かいにゅう)	개입
絆(きずな)	유대감
幼児(ようじ)	유아
儲ける	돈을 벌다
裁量(さいりょう)に委(ゆだ)ねる	재량에 맡기다

❷ 立場Bが使う語彙。

肖像権(しょうぞうけん)	초상권
隠(かく)し撮(ど)り	몰래 촬영함
承諾(しょうだく)	승낙
削除(さくじょ)	삭제
保障(ほしょう)する	보장하다
同意(どうい)を得(え)る	동의를 얻다

1R メモ

自分の立場・理由三つ・根拠とした前提

2R メモ

誰に反論するか・相手が軽視した点・自分の反論